

武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付申請書

武蔵野市長 殿

武蔵野市特定非営利活動法人補助金を受けたいので、武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付要綱第5条の規定により、添付書類を添えて、下記のとおり申請します。

記

申請年月日	平成30年5月10日
申請法人名称	特定非営利活動法人 〇〇〇〇
申請法人所在地 注 従たる事務所が市内 の場合は、当該事務所 も記入すること。	郵便番号 180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市役所西棟7階
代表者の肩書及び氏名	理事長 △△△△
団体設立の経緯	「学校の授業がよく分からない」「塾に行きたくても経済的な余裕がない」などの相談を受けて個別の学習支援をボランティアで行っていたが、参加児童・生徒の生活リズムを整えることが学習意欲や社会性の向上になると考え学習支援にとどまらない放課後の居場所づくり事業へと展開し、参加者及びスタッフの増加に伴い組織運営を円滑に行うためNPO法人となった。
主な事業内容	ひとり親家庭など、生活に余裕がない家庭の児童・生徒に対する学習支援事業、放課後の居場所づくり事業
補助金担当者氏名	△△△△
補助金担当者連絡先	電話番号 0422-60-1830 メールアドレス npo@city.musashino.lg.jp ファクシミリ番号 0422-51-2000
申請金額（円）	200,000円
事業名称	土曜日〇〇教室
事業期間（準備から終了まで）及びイベント等実施予定日時	平成30年4月～平成31年3月
事業目的	学習教室で知り合いになった児童・生徒が、より多くの時間を共有しながら交流をはかり、季節のイベントや体験学習への参加の機会を提供することで、参加者の情操面を含めた社会性の向上を図り、さらには少しでも多くの方と接する機会を設けることで人とのかかわりの経験を積んでもらうことを目的としている。
申請する理由	これまで実施していた平日の放課後学習支援に試行的に上乗せして実施するものであり、事業実施にあたっては、これまで連携していなかった事業者・機関と連携することになるが、参加する児童・生徒だけでなく連携先にも新たな視点を持っていただくことにつながり、放課後の居場所を必要とする児童・生徒に対する地域の理解と支援の輪が広まることになるため。

添付書類

- 1 事業企画書
- 2 事業収支予算書
- 3 当該年度の活動計画書
- 4 当該年度の活動予算書
- 5 前年度の事業報告書
- 6 前年度の活動計算書及び計算書類の注記又は収支決算書
- 7 貸借対照表
- 8 当該年度の年間役員名簿
- 9 定款
- 10 その他市長が必要と認めるもの

事業企画書

記入例

団体名	特定非営利活動法人 ○○○○
事業名称	土曜日○○教室
事業目的	<p>※なぜ、この事業が求められているか、何を目的として実施するのか、事業に企画するに至った動機と合わせて具体的に記入してください。</p> <p>生活に余裕のない家庭においては、学校以外の学習の機会、その他体験の機会が少なくなりがちである。これまで、そのような家庭の児童生徒に対して放課後の居場所事業として大学生ボランティアによる学習支援を行ってきているが、平日の放課後以外にも、同じ場に集まる仲間同士の交流をはかり、季節のイベントや体験学習への参加の機会を提供することで、参加者の情操面を含めた社会性の向上を図り、さらには少しでも多くの方と接する機会を設けることで人とかかわりの経験を積んでもらうことを目的としている。</p>
実施予定期間	<p>※事業の準備から終了までの期間を記入してください。</p> <p>平成30年4月1日～平成31年3月31日</p>
事業内容	<p>※できるだけ具体的に、いつ、どこで、何を、どのように、誰を対象に実施するのかなど、事業規模及び事業の全体像が分かるように記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに当法人の学習教室（平日・放課後、登録制）に参加している小学生・中学生を対象に、月1回（もしくは2回）の体験型事業（土日祝）を実施する。 ・定員20名。 ・体験型事業として、福祉施設でのボランティア体験、○○工場見学、季節を実感できるイベント、地域の事業などへの参加を予定。 ・ボランティア体験は、学習教室の会場として利用している○○老人ホームで実施する。（施設了解済み。日程は今後調整） <p>【体験プログラム案】7月：奥多摩○○キャンプ場でバーベキューと川遊び、8月：○○工場の見学・ボランティア体験（1回目）、9月：秋祭り参加、10月：○○体験、11月：ボランティア体験（2回目）、12月：クリスマス会・おせちづくり教室、1月：ボランティア体験（3回目）・参加者の企画によるイベント</p>
事業実施体制	<p>※事業を実施するにあたっての、団体の内部体制（責任者、従事予定人数、役割分担など）を具体的に記入してください。</p> <p>事業責任者：△△△△ 当法人スタッフ1～3名、大学生ボランティア5名 参加者および外部機関との連絡調整は、事業責任者と講師役を務める当法人のスタッフが担当する。</p>
スケジュール	<p>※企画、準備、運営成果の確認などの項目に分けて記入してください。</p> <p>企画（プログラム作成）：4月～5月 参加者募集：6月末まで 事業実施及びその準備：7月～1月 運営成果の確認・次年度計画の検討：2月～3月</p>
事業実施による効果及び成果	<p>※どのような課題が解決できるか記入してください。</p> <p>参加する子どもたちにとっては、日々の学習教室で顔を合わせている仲間と体験活動を共有することで、孤立を防ぎ、学ぶこと、人と関わることの楽しさを知り成長していくことにつながる。また、地域の福祉施設でのボランティア体験を行うことで、これまで子どもの問題などに関わりの薄かった方々へ、現代の子どもが置かれた状況への理解とさらなる協力を促すことができる。</p>
事業を実施することによる団体の今後の展望	<p>※申請事業の実施により、団体の組織強化・運営にどのように役立つか具体的に記入してください。</p> <p>外部団体と連携しての事業実施により、法人の活動の認知とさらなる展開が見込まれる。</p>

事業収支予算書

記入例

団体名	特定非営利活動法人 ○○○○
事業名称	土曜日○○教室

区分	項目	金額（円）	説明（内容及び積算根拠）
収入	武蔵野市NPO補助金	200,000	
	自己資金 （団体負担額）	121,100	
	事業収入	70,000	参加料 500円×7か月×20人
	寄付金	10,000	○○老人ホームより
	合計	401,100	

区分	項目	金額（円）	説明（内容及び積算根拠）
支出	謝礼	10,000	おせちづくり講師5,000円×2人
	消耗品費	10,000	体験事業消耗品（文具など）
	印刷製本費	15,000	体験事業資料作成費用（コピー代）50円×10回×30部
	借上料	185,000	バス借上料70,000円×2回、施設入場料（キャンプ場）600円×25人（工場見学）1,000円×25人、備品借上料（バーベキュー用品）5,000円
	保険料	37,500	体験事業10日分の保険料150円×10日×25人
	交通費	17,600	大学生ボランティアの交通費440円×10回×4人
	材料費	36,000	バーベキュー食材600円×30人、おせちづくり食材600円×30人
	スタッフ謝礼 ※補助対象外	90,000	当法人のスタッフへの日当相当の謝礼3,000円×10回×3人
	合計	401,100	

注 1 事業を実施するために活用する収入を、収入の項目別に記入してください。

注 2 事業を実施するために必要な費用を全て、支出の項目別に記入してください。